

平成22年度(2010年度) 建設コストの計画と実績

[単位:百万円(消費税込み)]

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成21年度まで (B)	平成22年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
中 日 本 高 速 道 路 網	近畿自動車道名古屋亀山線 名古屋南JCT～高針JCT新設事業	223,624	0	122,279	122,279	101,344	施工方法の見直し等による減、開通後も環境施設等の工事等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	近畿自動車道尾鷲多気線 紀勢大内山IC～大宮大台IC新設事業	30,503	26,358	1,066	27,424	3,078	工事等数量の確定により差額が生じたもの。
	近畿自動車道敦賀線 小浜IC～敦賀JCT新設事業	260,186	0	873	873	259,312	本線工事の完成は平成26年度を予定している。平成22年度は敦賀JCTを一部施工しており、一部供用を行った。
	東海北陸自動車道 美濃関JCT改築事業	2,247	888	37	926	1,320	工事等数量の確定により差額が生じたもの。
	近畿自動車道名古屋亀山線 勝川IC改築事業	859	0	98	98	760	平成22年度は準備工事を実施しており、本体工事を引き続き実施すること等による。
	一般国道475号(東海環状自動車道) 関広見IC新設事業	1,103	907	152	1,060	42	工事等数量の確定により差額が生じたもの。
	中日本高速道路株式会社が管理する高速道路 に係る高速道路利便増進事業に関する計画 (スマートIC)	89,011	0	546	546	88,464	平成22年度は中央自動車道長野線(梓川スマートIC)が供用を開始しており、他のスマートIC事業を引き続き実施すること等による。
	中央自動車道富士吉田線等 平成22年度修繕事業	21,859	-	21,467	21,467	392	工事発注の見直しによる複数年度工期設定等に伴う機構引渡し時期の見直しによる。
	中央自動車道富士吉田線等 災害復旧事業	30,292	5,703	2,222	7,925	22,366	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績をもとに45年分の額を債務引受限度額として設定している。平成22年度は、平成21年8月の駿河湾を震源とする地震災害に関わる復旧工事の一部、平成22年5月の亀山のり面災害に関わる復旧工事等が完成した。
	一般国道1号(箱根新道) 平成22年度修繕事業	336	-	27	27	308	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等による。
	一般国道16号(八王子バイパス) 平成22年度修繕事業	51	-	43	43	8	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等による。
一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠 道路)) 平成22年度修繕事業	8	-	1	1	6	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等による。	

注1)平成22年度(2010年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めずべて記載している。〇は、平成22年度に完了している事業である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成22年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成21年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。